

令和7年度 第1回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）議事録

1 期 日：令和7年7月4日(金)10:00～11:50

2 場 所：佐賀県立唐津商業高等学校 課題研究室

3 出席者：外部委員8名（校長含む）、欠席2名
事務局（本校職員）6名、欠席1名

4 議事録

（1）開会

以下の4点について連絡し、出席されている委員に承諾を得た。

- ・本協議会は公開で実施され、関係者が出席。
- ・傍聴希望者は学校側および会長への申請が必要。（本日は傍聴者なし）
- ・議事録作成や活動実績報告のため、事務局が音声記録や写真撮影を行う場合がある。
- ・委員の過半数出席が会議成立の条件。本日は過半数出席により会議が成立。

（2）任命状交付

- ・机上交付とした。

（3）学校長挨拶

学校の現状・進路状況・教育活動など以下の5点に触れ、挨拶とした。

- ・今年3月卒業生の進路状況：35%が就職、65%が進学。専門教育・ビジネス教育を行う商業高校として、進路の多様化が進行中であり、関東・関西の商業高校では進学率が8割に達する例がある。
- ・令和4年度から6年度までの3年間、「学校魅力化実践事業」に取り組んだ。その中で地域・地元企業との連携による商品開発、選択科目でのハングル教室や中学生へのアプローチ、社会人と連携したキャリア教育の組織化を実施。
- ・令和7年度から3年間、「唐津商業・地域共育プロジェクト」を推進することになるが、地域社会と連携し、限られた予算内で計画的に実施し、学校教育だけでなく、地域や外部の多様な視点を取り入れることを重視し、「魅力ある学校づくり」について、外部からの視点も参考にしていきたい。
- ・2024年8月に「ウェルビーイング」プロジェクトを創設し、地域社会とつながり、生徒が自らの生きがいややりがいを見つけることを目指す。地元経営者の話を聞く機会を設け、生徒の気づきを促進。生徒・教職員が「気づく」ことを重視し、「自ら考え、行動できる人材の育成」を目標に掲げる。
- ・ビジネス教育の根幹として「ホスピタリティマインドの醸成」を重視。校訓として「誠実」「品格」「挑戦」の3つの言葉を掲げる。2025年4月10日時点で唐津市の人口は113,000人強。4年前から6,000人減少、少子化・人口減少の中で、地域社会を支える人材育成が重要な課題。

（4）佐賀県教育委員会事務局（教育振興課）挨拶

教育振興課 石橋和幸指導主事より挨拶。

以下の点に触れ、挨拶された。

- ・ 2025年4月より着任。
- ・ 県内9校の学校づくりを担当し、可能な限り協議会に参加する。

(5) 外部委員及び本校事務局教職員紹介

- ・ 自己紹介を行った。

(6) 会長及び副会長選出

- ・ 事務局にて会長及び副会長を推薦し、出席されている委員の承認を得た。

(7) 会長挨拶

- ・ 会長としての抱負と意向を表明され、挨拶された。

(8) 学校からの説明（進行は会長）

学校運営の基本方針について以下の4点の確認し、承認を得た。

- ・ 学校の現状や課題について、外部の視点を積極的に取り入れることの重要性を強調。
- ・ 「自分たちが考えられない地域の会社や学校外の方の意見は有意義」。
- ・ 「そもそも学校内でどんな生徒を育てたいか、共通認識を持つことが大切」。
- ・ 生徒募集や学校選択の理由についても、外部の意見を参考にする必要性。

(9) 佐賀県魅力化アドバイザー（門脇享平氏）からの説明（熟議含む）

- ・ 意見交換のテーマ

「唯一無二の魅力ある学校とは（唐津商業高校に期待するもの・自分たちができること）」

- ・ 最初に門脇氏より「熟議」「協働」「マネジメント」について、参加者同士の信頼関係や役割分担の重要性が強調された。参加者が「チーム」になるための視点や実践方法を学び、明日からの活動に活かせる具体的なアイデアを持ち帰ることを目指す。県内学校の事例等が紹介された。
- ・ テーマについて3グループに分かれ、アドバイザーの指揮のもと、60分間セッションを分け、意見交換を行った。
- ・ 参加者が記入したワークシートをもとに自己紹介・アイデア出し、相互理解・評価をメインに実施。

(10) 閉会

- ・ 第2回 9月26日(金)10:00～
- ・ 第3回 11月または2月